

news release

独自の新人営業職員 (プランライト・アドバイザー) 研修プログラム “MASCL” 開設以来の累計受講者数が 2,000 人を突破

マニユライフ生命保険株式会社 (本社:東京都調布市、社長兼CEO: ジェフ・クリックメイ)では、独自のコンサルティング・セールス・プロセスの習得を目的として、“MASCL”(マスキル)と呼ばれる集中集合形式による新人プランライト・アドバイザー (当社営業職員)用研修プログラムを開発し、実施してきましたが、8月30日に開講した第26期のコースにおいて、2002年の7月の同研修プログラム開始以来の累計受講者数が、2千人の大台を越えました。

“MASCL”は、マニユライフ生命が最重点施策の一つとして構築を進めてきたプランライト・アドバイザー向けの研修トレーニング体系の中でも要として位置づけられる、独自開発のトレーニング・プログラムで、名称は、「マニユライフ・アカデミー・セールス・コラボレーティブ・ラーニング」の頭文字に由来します。“MASCL”の内容は、「プランライト」と呼ばれるマニユライフ生命独自のニーズベースのコンサルティング・セールスプロセスを、コーチング形式のアクティブ・ラーニングにより修得するもので、延べ20時間以上のロールプレイングを含む、全体で5日間の実践的な集中集合トレーニング・プログラムとなっています。

新人プランライト・アドバイザーは、東京・国領のマニユライフ生命本社内のトレーニング施設 (マニユライフ・アカデミー)において“MASCL”を受講することにより、お客さまの潜在的なニーズを発見し、個々のお客さまに最適な貯蓄計画、保障計画をご提案できるスキルを身につけることができます。

“MASCL”開講以来、プランライト・アドバイザー新規採用の拡大に対応してほぼ毎月1,2回のコースを開催してきましたが、このほど延べ26期を数えたところで、累計受講者数が2,025名を記録し、2千人の大台を突破したものです。

マニユライフ生命としては、今後も、「日本で最もプロ意識の高い生命保険会社を目指す」というビジョンの実現に向けて、研修トレーニングのさらなる充実に努めていく考えです。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社 (「マニユライフ生命」) は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています (2004年7月現在)。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、アジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2004年6月30日現在3,600億カナダドル(2,690億米ドル)となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ (www.manulife.com) をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。 (www.manulife.co.jp)